

Weekly Bulletin 2023-2024



RI会長
ゴードンR.マッキナリー



世界に希望を生み出そう

静岡東ロータリークラブ

会長/川口尚宜 幹事/宮崎貴久

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
川口尚宜

第3080回例会 令和5年11月9日

《司会》 藪崎 忍君

《合唱》 「我等の生業」

《ソングリーダー》 山下 勝央君

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

・お誕生日

11月11日 飯塚 潤君

11月13日 鍋田 知佐人君

11月15日 高田 雅司君

・結婚記念日

11月10日 古橋 剛俊君

11月10日 鍋田 知佐人君

11月12日 長島 秀親君

《会長挨拶要旨》 川口尚宜 会長

私は、スポーツや勝負事を見るのが大好きです。オリンピックも楽しみです、今年は大谷翔平選手の大会と言えた WBC、井上尚弥選手の 4 団体統一選後の階級を上げての世界タイトル 2 団体統一戦、藤井聡太棋士の史上初めて八冠達成、夏の甲子園高校野球では神奈川県代表の慶應義塾高校が 103 年振りに優勝しました。地元力士の熱海富士優勝決定戦、ラグビーワールドカップがあり、先週日曜日の阪神 38 年振りアレのアレもすごかったです。スポーツや勝

負事は筋書きのないドラマと言われるように誰が勝つかわかりません。大きな大会になればなるほど勝者と敗者のドラマがあります。どういう結果になるかがもちろん気になる所ではありますが、結果と共に私が楽しみにしているのが、勝った選手がどんなことを優勝インタビューでいうか、又、負けた選手が何を言うかです。そこには、競技を超えて人間性であるとか、その人が育ってきた家庭環境、国柄、最終的には人生観が出ます。この勝者と敗者の言葉は、スポーツや勝負事という枠を超え、チームとして同じ目標に向かいプロセスを考え日々努力し最後に結果を出す(→これは会社や組織の運営そのものですが)ことのヒントになります。個人競技ならどういう人が頂点に立つのか？その人の競技に向かう姿勢や考え方、人との接し方から人間とはどう生きるべきかを知る良い機会であると思います。スポーツや勝負事はミスのゲームとも言えます。ミスした方が負ける。いかにミスをしないようにするかが勝負の分かれ目になることが多いと思います。

では、大事な場面でミスをしないためには、どうしたら良いのか？逆にいうとどういう人がミスをしてしまうのか？ということが勝者と敗者のインタビューから見えてきます。わたしが色々見て来て思うことは、ミスをする原因は、ズバリ「欲」ではないかと思っています。しかも、今、目の前にあることではなく、

これが成功したらこうなるウッシッシという目の前の先にある結果が欲しいという「我欲」です。特に人と比較して得たい、利益を得たい欲と言っても良いかも知れません。もしくは、失敗して先の我欲が手に入らなくなるという恐怖といえるかも知れません。この2つで力んでしまう、力んでかえって体が動かなくなる、どこかが止まる、スムーズに動き続けられなくなる。これがミスの原因ではないかと考えています。

このような我欲を克服する方法はないでしょうか？それは、欲の前の我を取ることです。勝つという欲は必要なことですが、自分のためでなく、自分以外の何かのために、例えば自分を生んで育ててくれた両親、自分が生まれ育った故郷、指導してくれたコーチ、日々の練習を支えてくれたチームメイトやマネージャー。こういう自分以外の何かのために戦う時に体がスムーズに動き、力みが取れミスをしなくなる。阪神大震災の後のオリックス、東日本大震災の後の楽天、羽生結弦君などがこの例です。まとめますとスポーツ・勝負事に勝つために、①先にある我欲を捨て、②自分以外の何かのために、③目の前のことに集中しましょう。そうすれば、栄光はあなたの手にあります。

《ロータリーの友》 竹内 竜也 君

11月号からの紹介

1) UNHCR の上司、そして財団奨学生の先輩「緒方貞子さん」

「難民」という言葉は、いまの日本社会の中では、どうも安易に使われている感があるとする。例えば「就職難民」や「家庭内難民」、難しい状況に置かれた人を何となく「難民」という言葉を使って表現していないだろうか。

しかし、難民は国際法で定義され、使用には注意が必要な言葉。「難民の地位に関する条約」の中で、「人種、宗教、国籍、政治的意見や特定の社会集団に属するなどの理由で、自分の国に在ると迫害を受けるか、あるいは迫害を受ける恐れがあるために他国に逃れた人々」と定義されている。例えば、日本政府は、ウクライナから日本に逃れてきた人々を「避難民」と呼び厳格な解釈のもと使い分けている。UNCHRはこの人々をも難民と捉えており、これを例として言葉を使う人により対象が異なってくることに留意したい。

2) 卓話の泉『『褒める』ということ』

褒めると叱るには共に相手の成長を願う「愛」がある。にもかかわらず、叱るという手法はほとんど効果がなく、ミスをした人には傾聴と共感が大切。大事なのが笑顔。まずは褒め、後はそこから考えましょう。

《次年度理事候補者の報告》 長島 秀親 会長エレクト

相原 雄治君

伊藤 裕次君

大村 幸代君

川口 尚宜君

島 武志君

杉山 輝光君

高田 雅司君

長田 きみの君

森下 登志美君

山下 勝央君

由利 浩志君

《会員卓話》 由利 和士君



演題「私の15年(私生活編)」

《卓話サマリー》

1. 世界のスポーツ競技人口ランキング1位はバレーボール(5億人)…野球は番外(0.3億人)
2. 日本の小学生が好きなスポーツ競技ランキング1位はバドミントン…野球は第12位
3. 3人の息子たちは野球スポーツ少年団に～少年スポーツとの関わり～
4. 野球を通して①感謝の心を育む②ルールを守ることの大切さを教える③「野球は楽しい」と感じさせ次のステップへ送り出す⇒高校まで野球を続けてくれる子を増やす
5. しかし、団員数は年々減少し、存続の危機に～要因は①学童数の減少②学童スポーツの多様化③保護者の時間的負担④長時間練習⑤指導方法⑥金銭的負担⑦父母間の人間関係
5. イベントを通じた勧誘からOBになっても繋がっている絆の醸成⇒二世団員への展開
6. それにしてもお金がかかる。。古紙回収、アルミ缶・鉄くず回収による団費の捻出も
7. 高校まで野球完遂…50% 中にはプロ野球選手も
8. 子供の成長にと始めた野球に関わり、学校・親同士の関係、先輩や他チーム関係者、卒業生のその後、世代を超えた父母会のつながりと広がっていくことで、子供たちから学ぶことが多い。競技種目は何でもいい。子とともに成長した15年。

《所感》

- ・立場や価値観の違いを超え、仲間を維持していくことの大変さは、ロータリークラブも同じ。
あの手この手で仲間を増やす。新しい仲間との出会いが新しい知見を広げる。
- ・新しい世界との出会いや体験を通じて少しでも成長出来たらと思う。

《スマイル報告》

古橋 剛俊君（結婚記念日の御礼）

明日10日は結構記念日です。金婚式を迎えました。

杉田 至弘君（誕生日、結婚記念日の御礼）

誕生日、結婚記念日のお祝いありがとうございます。

6番バッターの杉田です。1番佐野さん、2番神野さん、3番中嶋さん、4番肥田さん、5番望月さん、そして7番由利さん、8番佐橋さん、9番古橋さん、これがベストナインです。なんチャッテ！

若い皆さんのエネルギーと発信力、シニアの方々の豊富な経験が相まって静岡東クラブは益々魅力的ですね。私も負けずに頑張ります。

原口 翼君（職場見学の御礼）

先日はお忙しい中、職場見学へのご参加ありがとうございました。終了時刻が大幅に遅れてしまったこと、お詫び申し上げます。

その中でも和やかなひと時を過ごすことができたのは、ひとえに皆さんのご協力のおかげだと感謝しております。

感謝と反省の意を込めましてスマイルいたします。

生形 秀之君

復帰レースでけがをしまい、大変ご心配をおかけしました。

もうけがをしないよう願いもこめてスマイルします。

川口 尚宜君

生形会員の復活を祝してスマイル致します。これからもチャレンジし続けてください。

由利 和土君

本日は卓話の機会をいただきありがとうございました。

また先月の地区大会でガバナーより親子会員の激励と激励の品をいただきました。

まとまりの無い話をしてしまった反省と激励に応えるべくこれからも精進して参ります。

妹背 俊紀君

4代前の会員だった社長の永島が今度の日曜日、朝5時30分、毎日放送系「ザ・リーダー」という30分番組に出演します。思い出の地ということで静岡支社、駿府城、日本平での撮影で「静岡愛」あふれるインタビューが撮影されました。

残念ながら静岡では当日見れませんが、TVerの見逃し配信などで是非ご覧いただけたら幸いです。これまでも代々お世話になってきたロータリーの皆さんに感謝をこめてスマイルします。

(会報作成 塚田 義生)